

馬研究室

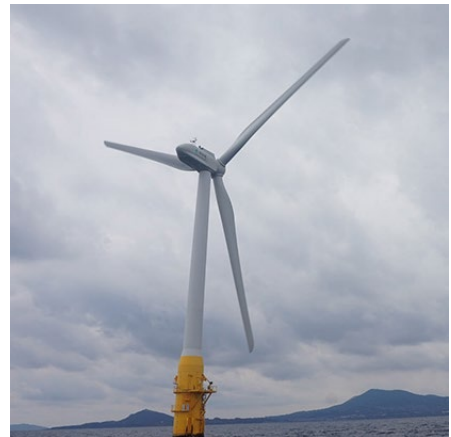
(環境経済学・エネルギー経済学)

教員名：馬 騰

● どんな研究をしているところ?どんなことに役立つの?

環境問題は自動車排出ガスや飲用水の汚染といった我々身近な問題から地球温暖化といった世界規模で起きている問題まで及んでいます。環境経済学とは、このような広範囲に及ぶ環境問題について、経済学的手法を使って分析する分野です。

本研究室では、環境破壊の影響を評価すること、または環境対策を実現するための政策手段を評価することに着目して、計量経済学の分析手法を用いて、論文を作成することを目指しています。具体的に、「災害」、「エネルギー」、「廃棄物」、「気候変動」(特に、再エネと電力市場に関わる分野)など環境経済学やエネルギー経済学に関わる分野に焦点を当て、文献の輪読を実施しています。関心のある環境問題に対する仮説を立て、研究目的を明確にする上で、実証分析モデルの構築により、思考力、分析力、そして、調査や分析などの結果を正確に伝える力を高めることを目標としています。



(運転中の「崎山沖 2MW 浮体式洋上風力発電所」; 出所: 自然エネルギー財団 (2018))

この研究室では、学生自身の興味を尊重します。ゼミ生の関心を持つような問題点を探し、研究テーマを見つけることを方針として、研究指導を行います。また、アンケート調査や計量経済学など手法を用いる実証分析を行うため、社会調査法、計量経済学など社会科学手法を学びます。

● 先輩はどんなところに就職しているの?

2024年度に始まる新しい研究室なので、卒業生はまだ出ていません。